

相談支援専門部会 報告資料

本年度開催 第1回 平成27年7月14日

第2回 平成28年1月25日

平成27年度相談支援専門部会活動概要

1 主な審議事項

(1) 基幹相談支援センターの設置促進について

地域における相談支援の中核的な役割を担う機関である基幹相談支援センターは、平成27年4月1日現在、県内16市町村に設置されるにとどまっている。

専門部会においては、今後、地域における相談支援体制の充実のため、更なる設置の促進に向けた検討を行うこととしている。

なお、本年度の具体的な取組としては、市町村職員等を対象とした研修会を実施する予定。

(2) 相談支援従事者研修等の見直しについて

相談支援専門員、サービス管理責任者等の現在の状況を踏まえ、今後の研修のあり方についての検討に着手した。

平成29年度当初予算の要求を意識しながら、本年7月を目途に一定の方針を定める予定。

2 主な報告事項

(1) 計画相談支援体制整備の進捗状況について

平成27年4月から、市町村における障害福祉サービス等の支給決定に際し、サービス等利用計画案の提出が必須となった。

平成27年12月現在の計画作成率は90.7%であり、作成された計画のうち当事者自らが作成したセルフプランの割合は22.9%。

専門部会においては、市町村が安易にセルフプランの作成をサービス利用者に勧めることのないよう、県が働きかける必要があるとの意見をいただいた。

(2) 発達障害のある人への相談支援体制の見直しについて

千葉県発達障害者支援センターに相談が集中していることから生じている相談者の利便性の低下を軽減することを目的に、平成26年度に相談支援体制の見直しを検討した。本年度はその検討結果を踏まえ、人材育成、一次支援機関のリスト化・公表等を行った。

専門部会においては、今後は地域における二次支援機関の養成に向けた取組が必要との意見をいただいた。